

◆ 2010年8月からの適用開始以来、4年を経過

アクアカーテンは2010年8月、浄水場の建設工事に適用して以来、立坑、トンネル、PCタンク、橋脚、水路、シールド、橋台、ケーソン、水門など多種の構造物の建設に用いられてきました。

4年を経過して適用済み面積が20万m²を突破いたしました。

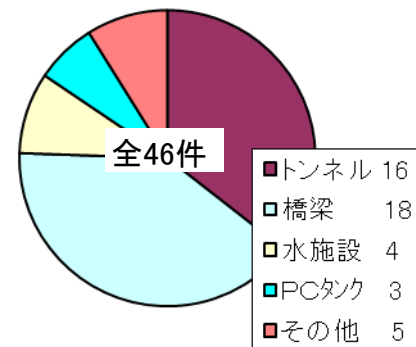
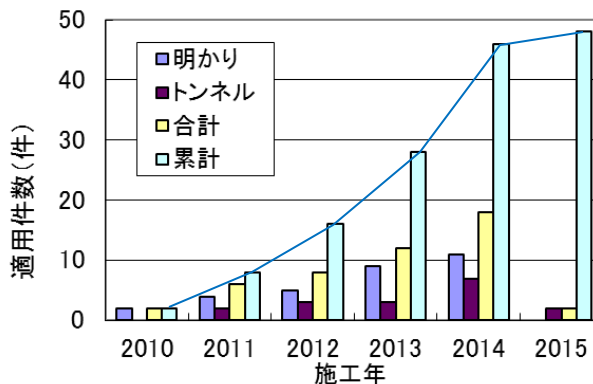
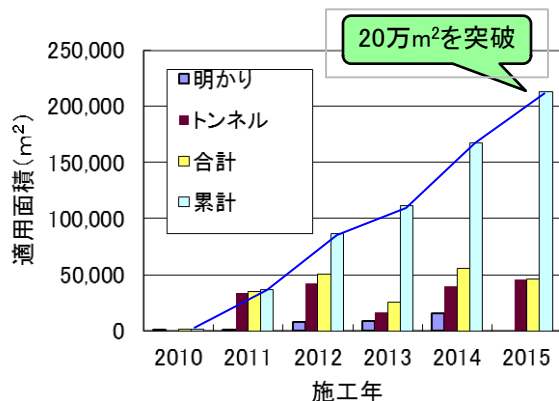
アクアカーテンの主な歴史

- 2010/8: 川崎市の浄水場建設工事で初めて適用
- 2011/7: ホームページ開設。
- 2011/9: NETIS登録番号: HR-110011-A
- 2012/5: 2012年日本コンクリート工学会賞(技術賞)受賞
- 2012/5: 平成23年土木学会賞【技術開発賞】受賞
- 2012/12: Journal of Civil Engineering and Architectureに掲載。
- 2013/2: ARIC情報に登録: 登録番号:1032
- 2013/5: First International Conference on Concrete Sustainability (ICCS 13)において投稿論文が最優秀技術賞を受賞
- 2013/11: 適用面積が10万m²を突破
- 2014/11: 土木学会100周年記念出版日本が世界に誇るコンクリート技術の中で養生技術の一つにアクアカーテンを選定
- 2015/2: 適用面積が20万m²を突破

適用構造物を明かり(一般構造物)とトンネル覆工に区分して、適用年ごとに適用面積を整理しました。

適用面積は、やはりトンネル覆工が圧倒的に多いと言えます。

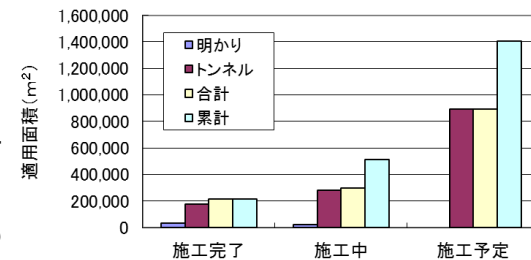
適用件数は明かりとトンネル覆工は拮抗しています。



◆ 今後の適用予想

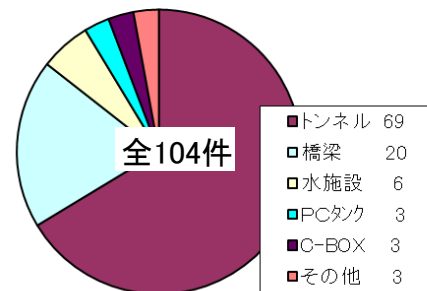
- ◆ 過去4年間で適用面積が20万m²
- ◆ 現在施工中の適用面積は約30万m²
- ◆ 2016年2月までに適用を始める予定面積が90万m²

今後急速に適用面積が増加していくものと考えています。



適用予定件数を含めた構造物の区分と件数は、トンネル覆工が2/3、明かり構造物では橋梁が多くなっています。

橋梁については、橋脚や橋台の下部工、柱頭部、箱桁などの上部工と適用部位が多様となっています。



アクアカーテンは総合評価入札における有力な技術提案としてだけでなく、工事受注後の創意工夫(VE提案)においても有効な技術として期待されます。